

アルミ溶湯 自動配湯台車システム

特許第
6873948号

概要

集中溶解炉で溶かされた溶湯は、多くのユーザーでフォークリフト搬送により取鍋を傾動して各手許炉に配湯されています。フォーク配湯ではオペレーター搬送中の湯こぼれなどが懸念され、近年、対策として自動配湯や密閉容器での配湯ニーズが高まっています。

自動搬送により人的災害を無くし、密閉容器での搬送は災害リスクの軽減につながり、安全な作業環境を作ります。

また、取鍋内の残湯量をロードセルで検知して加圧コントロールすることでスムーズな配湯を実現し、脱着式加圧蓋によって取鍋内の溶湯管理が容易にできます。

特長

人的災害への対策と安全環境の実現

密閉容器での搬送で湯こぼれを防ぐ

配湯要求と重量設定で配湯をコントロール

重量制御で圧力をコントロールする加圧出湯方式

脱着式加圧蓋で溶湯の管理が容易

実績

配湯能力	3,000kg/h (取鍋容量1,000kg×3回配湯/h)	出湯量	30kg～500kg/手許炉1基当たり
軌道台車	軌道70m・コンプレッサー積載・ トロリー給電・CC-Link通信	加圧出湯方式	規定重量による圧力可変制御

設備フロー

自動配湯フロー



設備レイアウト

配湯台車

加圧蓋セット図

取鍋移載レイアウト図

